



対市交渉に向けたアンケートから こんな要求、あんな思い

ホントはみんな、何とかしてほしいと思ってる 力を合わせて声を上げていこう

枚方教組が職場の教職員や支援員の皆さんに呼び掛けている、対市交渉に向けたアンケートに、さまざまな要求や切実な声が寄せられています。

今の学校、働き方や教育の進め方が当たり前、仕方がないと思って働く毎日。ほんとはおかしいのでは？他の市ではこんな風にはやってないのになぜ枚方は…。こんな声もよく聞かれます。

教職員どうし、たがいに感じていること、思っていることを出し合い共有することが、働き方や学校を変えていく出発点になります。

教室足りない、休養室使えない、エアコンない部屋で子ども対応？？

- 教室が足りない！ 支援学級が増えたり、通級指導教室、校内教育支援ルームな度が必要なのに、1つの教室を簡易的な壁で分けたり、特別教室をやめて割り当てている。
- 教室2つを留守家庭児童会の部屋に割り当てている。放課後デイサービスが6限目から図工室使うために授業調整などが大変。
- 水泳授業の民間施設利用で使わなくなったプール用地を、留守家庭児童会などに使えないのか
- 校内支援ルームにエアコンがないので扇風機で対応、早くつけてほしい。
- 教職員用の休養室を使えるようにしてほしい。休養室にエアコンつけてほしい。更衣室がびっくりするくらい狭い。
- 複合機にタブレット接続台数制限があって使えない時があるのを何とかしてほしい
- タブレットの機器管理が大変すぎる。ICT支援員を常駐してほしい
- トイレ清掃に業者に来てほしい

ダブルカウント未配置でそのまま？部活動地域移行を早く！

- ダブルカウント今からでも未配置講師を確保してほしい。
- 休憩時間きちんと確保してほしい。学校の業務が多すぎる。時間外業務が常態化
- 1人当たりの仕事量、授業持ち時間を減らせるように、人を配置してほしい。
- 部活動で休日の負担が大きい、地域移行を早く進めてほしい。
- 通知表の所見なぜ（中学校は年間1回だけになっているのに）小学校だけ毎学期記入の拘束になっている？他市でもそうなっているのに、年1回にしてほしい。
- 修学旅行の食事代が府費はでたと聞いたが、市費は出なかった

通知表所見なぜ毎学期？ スタンド、ICT 活用のプレッシャーで大変に

- 初任者の研究授業を1学期から始めるのは無理がある、2年目、3年目に振り分けて
- アレルギー対応が増え心配。どの学校にも栄養教諭を配置してほしい。
- 子どもの命にもかかわるので、2学期を9月始まりにしてほしい。

- とにかくタブレットの活用や、授業スタンダードや特定の授業スタイルのプレッシャーがかけられ、子どもや学校の実態にかみ合っていないくて、対応が大変。
- 委員会の一方的な指示伝達が急にがあるため、職員が振り回されて、仕事の効率が、逆に悪くなった。また、新しい取り組みばかり積み重ね、これをやめるという判断が、ピントハズレのため不平不満が溜まっている。もう少し現場の声に耳を傾けてほしい。

- トップダウンで全体研修なので、取り組む内容が多すぎ。やるもの、やめるものの判断をして現場の負担や不平不満に耳を傾けてほしい

対市交渉に向け、さらに多くの職場からの声や意見を集めて、市教委に届けて、対応や改善を求めています。 右のQRコードから、ぜひ、皆さんの声や意見をお願いします。

対市交渉に向けてのアンケート QRコード⇒



NO WAR！憲法守れ！7・19 枚方ペンライト宣伝

5月8日に枚方 T-SITE 前で開催された、「NO WAR！憲法守れ！5・8枚方ペンライト宣伝」には、120人の市民、個人が集まり、大きな力になりました。

7月19日(日)18:30から再び枚方 T-SITE 前で、市民の明確な意思をアピールしていきます。

途中参加、個人参加大歓迎、一緒に立っているだけでも OK です。

全国のデモや集会の情報を集約して発信している「デモカレンダー」のサイトにも掲載されています。

ぜひ、アクセスして、情報をつながりのある人、知り合いに拡散してください。

NO WAR!憲法守れ!
7/19 HIRAKATA



2026年7月19日(日)18:30~19:00 枚方T-SITE前

よびかけ：全教・枚方教職員組合

「デモカレンダー」QRコード⇒



大教済サマーパーティー

7月22日(水) 18:00～ Moga Joga ダイニング(枚方公園駅5分)

参加費 2000円(大教済加入者) 加入者以外は5500円

目が回るような4月からの1学期。夏休みに入って、ゆっくりと互いに語り合い、交流しましょう。 先着20名 申し込みは右のQRコードからおねがいします。⇒



北河内サマーフェスタ 9月12日(土)13:30

予告

ダニー・ネフスタイさん(元イスラエル兵)

講演「武力で平和は守れない～元イスラエル兵が語る～」

会場 枚方市生涯学習交流センター(枚方モール5階) 大集会室

どなたでも
参加できます

自民・維新の健康保険法改悪 **これでは病院に行けない！** **負担を次々引き上げ、高齢、病気で生活破綻に** **このままでは日本が、「破滅的支出」「医療崩壊」に**



戦後改悪が続いてきたものの、日本の健康保険制度は、われわれの暮らしを支える重要な制度です。

しかし、高市首相は、維新の会と悪政のアクセルをふかして、健康保険制度の改悪を次々と進めています。

昨年の、高市政権発足時の連立合意に「医療費年間4兆円削減」を盛り込み、その後の国会の予算、法案に次々と改悪を強行してきています。

高市政権が進める健康保険制度改悪

■OTC 薬保険適用除外 (2027年3月～現行の+25%)

例 花粉症薬20倍、ロキソニン35倍の負担に

■高額医療費制度 (月額上限を引き上げ)

今年7月まで 2026年8月～ 2027年8月～

約8万円⇒約8万5千円⇒約11万4千円(35歳)

(教員平均例) 約13万9千円(45歳)

■後期高齢者健康保険

窓口負担 現行 70歳以降2割、75歳以降1割

維新の会が一律3割負担を強い要求で検討中

4兆円の医療費削減で「破滅的支出」「医療崩壊」に

世界保健機構(WHO)では家計所得から住居、光熱費、食費などを除いた自由に使える収入のうち医療関連の支払いが40%を超える場合は、貧困に陥る「破滅的支出」と定義しています。

高額医療費制度改悪で、3か月も高額医療負担が続けば、「破滅的支出」に陥るといわれます。今後さらに健康保険など社会保障削減を進めようとしており、このままでは、だれもが容易に「破滅的支出」を引き起こすことは明らかです。

25年ほど前の小泉純一郎政権で、5年で1兆円を超える医療費削減が行われ、深刻な「医療崩壊」を引き起こし、妊婦の「たらいまわし」問題、救急患者の「受け入れ拒否問題」につながり、コロナ禍では、急性期病床の絶望的な不足を引き起こしました。

現在でも、全国各地で地方だけでなく、都市部の公立病院、大学病院までも経営危機に陥り、閉院も拡大しています。

与党と維新で合意する医療費4兆円削減が進めば、取り返しのつかない「医療崩壊」となり、病気になっても医療を受けられない事態が迫っているといえます。

健康保険制度の崩壊に アメリカのように富裕層しか医療を受けられない！？

「生活保護受給者にも医療費の自己割負担をさせるべき」維新の会・猪瀬直樹)

6/9 の参議院での維新の会議員の発言に、さすがの厚生労働大臣も「負担能力がないから、医療扶助を受けている」と否定的な答弁をせざるを得ませんでした。

アメリカでは、虫歯1本で30万円、盲腸治療で600万円が当たり前。富裕層でなければまともな医療は受けられない。日本がそんな社会になって本当にいいのでしょうか？

大企業は史上空前の利益を上げ、600兆円を超える「内部留保」が積み上がっています。

なのに、消費税減税は棚上げ、大企業富裕層への課税は行わず、物価高騰に苦しむ国民にばかり、負担増求めています。

また、「戦争する国」づくりのために、今年度10兆円の防衛予算をトランプ大統領の要求を先取りして約33兆円への増額を狙っている、危険な軍拡、戦争国家政策の転換こそ必要です。

全教（全日本教職員組合）の枚方教職員組合のニュースです

市全体の施設の管理計画改定案 来年から20年で 約10%(床面積)の削減 **小中学校の再編を最優先に実施（統廃合）！？** **プール跡地を売却？ 学校が必要とする利用こそ**

枚方市では、「枚方市公共施設マネジメント推進計画」と「個別施設計画(総合編)」を改定するための基本方針を公表。今後、議会での検討、パブリックコメントを経て、来年3月には改定の計画を策定するとしています。

この計画は、人口減少を口実に、国や自治体の財政負担を削減することをねらい、市の施設の統廃合を進めるため策定され、取り組まれているものになります。

40年後に維持費等が+20%に？ だから20年で10%の施設統廃合！？

枚方市の説明では、今後老朽化、物価上昇、少子化を背景に財政負担が懸念されるので、今のうちから計画的に、市の支出を抑えるため、施設を削減するとしています。

今後物価上昇で維持費・更新費等が増加するので、20年間で10%の施設統廃合を進めるとしています。

財政のそろばん勘定だけ数字を合わせて、統廃合を進める。これでは、子どもたちの教育条件、教育環境の保障は全く無視されています。

子どもたちの学習、生活環境にしわ寄せを引き起こし、通学路の安全、地域の防災拠点としての機能など、地域社会にとっても極めて重要な学校の在り方を、数字合わせだけで決めるべきではありません。

小中学校狙い撃ちの統廃合 + ほかの施設と複合化も

基本方針案では、「小中学校の再編を優先的に実施」する方針を示しています。

また、「学校再編に当たっては、周辺施設等の複合化・集約化を合わせて検討」ともしています。

しかし、10年前にはなかった35人学級が小学校で実施され、中学校でも拡大されます。住民や子どもの人口動向も10年で大きく変わっています。10年前の計画をもとに実施すること自身に大きな無理があります。

また、「複合化、集約化」で懸念されるのが、小学校と中学校を1つの施設に統合する「義務教育学校」。

近隣市でも住民の反対を押し切り進められているものの、生活時間帯、行事、施設の利用の違いで子どもたちに多大なストレスを引き起こし、授業や教育活動が困難に避けられません。

京都市ではさらに、学校と老人施設、保育所、レストランまで併設して営業させる例も出ています。

プール跡地を売却？ 留守家庭児童会、駐輪場、学校が必要な施設を！

今年3月に市教委は「小学校水泳授業民間活用の全校実施に向けた年次計画」を公表、今後順次小学校の水泳授業を民間施設で実施するに伴い、使用しなくなったプール跡地を「売却の可能性なども検証しながら、その有効活用について検討」としています。

民間企業等に売却するなら、多くの学校で深刻になっている、教室不足、留守家庭児童会が校舎の教室を2つも使っている、放課後オープンスクエアが特別教室使う関係で、6限目から授業調整が必要など、留守家庭児童会などの教室確保こそ行すべきです。また、雨ですづぬれで出勤する先生のために、舗装され、屋根付きの駐輪場こそつくづべきではないでしょうか？

多額の市税投入の市駅前再開発こそ撤回すべき

そもそも、貴重な駅前の市有地を民間に売却して、市が多額の負債を抱え、開発企業に市税を投入し続ける市駅前再開発計画こそ撤回することが何より先決といえます。

全国各地で、大規模駅前再開発が、異常な物価高騰、資材不足で計画が破綻至り、ストップする例が相次いでいます。枚方は、まだ計画も決定されていません。今のうちに根本的に転換すべきです。

枚方教組に加入して学校や働き方を変えていきましょう